

宮城⇒東京⇒宮城 リレーイベント

『文化遺産とまち、ひと、復興』 宮城大会第1部の開催

文化遺産の復旧がまちや人々を元気にしています。

地域に大切に受け継がれた歴史的建造物、伝統芸能や祭礼、風俗や習慣、などなど、多くの文化遺産が東日本大震災で被災しました。それでも、地域住民の声に応じて支援が集まり復旧がはじめられた文化遺産があります。被災地では、地域の歴史文化を見直す動きが芽生え、これに関わる人の活動の輪も広がりつつあります。

大切なふるさとの文化遺産の復旧支援を呼びかけます。

このイベントでは、被災地である宮城県から、各地の文化遺産の被災状況や復旧の現状を報告するとともに、参加者に実際にその様子を見ていただきます。これによって、文化遺産がふるさとの復興に果たす意義をアピールし、さらなる支援の必要性について広く呼びかけます。

被災地宮城と東京をつなぎ、支援の輪を広げます。

宮城大会第1部は、宮城県及び被災地の団体などにより開催されます。引き続き東京において、全国で文化遺産の復旧支援を行う団体が結集し、国民的な支援を呼びかけます。その後、再び宮城で、それまでの成果を持ちよって宮城大会第2部の開催が予定されています。

1. 宮城大会第1部：平成25年9月6日（金）7日（土）⇒次頁にご案内があります

- ◆シンポジウム（6日）：文化遺産復旧に取り組む団体が集まり、支援の必要性を訴えます。
- ◆パネル展（6日）：文化遺産の復旧と復興の様子をまとめたパネルを展示します。
- ◆現地ツアー（7日）：石巻、気仙沼の文化遺産の復旧状況を紹介します（定員40名）。
 - ・現地で活動する団体からの報告や、被災から復旧した伝統芸能の実演などを行います。引き続き、以下のイベントが予定されています

2. 東京大会：平成25年12月20日（金）

- ◆シンポジウム：全国の関連団体が結集し、支援を宣言します。
- ◆パネル巡回展：東京大会に先立ち、宮城大会で作成したパネルを都内で巡回展示します。（10月～12月頃）

3. 宮城大会第2部：平成26年2月（予定）

- ◆シンポジウム：被災地に関連団体が結集し、全国にアピールを行います。

宮城大会第1部に係るお問合せ：宮城県地域文化遺産復興プロジェクト実行委員会事務局

宮城県教育庁文化財保護課保存活用班 担当、大坂

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町 3-8-1 TEL：022-211-3683 FAX：022-211-3693

※本事業の全体に関するお問い合わせ：(株)マヌ都市建築研究所 担当、三浦・和田 MAIL:wada@manu.co.jp

○宮城大会は文化庁「文化遺産を活かした地域活性化事業」により実施します。
○東京大会はフリーマン財団の支援、及び文化庁「NPO等による文化財建造物の管理活用事業」により実施します。



『文化遺産とまち、ひと、復興』宮城大会第1部のご案内

東日本大震災で被災した多くの文化遺産が、いま復旧の途上にあります。
本イベントでは、被災地である宮城県から、各地の文化遺産の被災と復旧の状況を報告します。
また、文化遺産がふるさとの復興に果たす意義や、さらなる支援の必要性について呼びかけます。

主 催 : 宮城県地域文化遺産復興プロジェクト実行委員会
共 催 : 東北歴史博物館
後援(予定): 宮城県、宮城県教育委員会、気仙沼市教育委員会、石巻市教育委員会
SOC (東日本大震災被災文化財復旧支援事業)、ワールド・モニュメント財団

■シンポジウム(無料、申し込み不要、13時受付開始、先着順)

日時・会場: 9月6日(金) 14時～17時
東北歴史博物館講堂(宮城県多賀城市高崎1-22-1)

内 容: 14時00分～14時15分 開会スピーチ
14時15分～15時30分 被災地からの報告(タイトルは仮題)
(1) 宮城県の文化遺産の被災と復旧(宮城県教育庁文化財保護課)
(2) 気仙沼風待ちの国登録文化財群の復旧(気仙沼風待ち復興検討会 幡野寛治)
(3) 雄勝法印神楽を含む祭礼の復旧(葉山神社 千葉秀司)
(4) 文化遺産の復旧支援の取り組み(ワールド・モニュメント財団 稲垣光彦)

16時00分～17時00分
ディスカッション「文化遺産の復旧とふるさとの復興」
宮城県教育庁文化財保護課
気仙沼風待ち復興検討会 幡野寛治
葉山神社 千葉秀司
ワールド・モニュメント財団 稲垣光彦
文化庁文化財部参事官(建造物担当) 付文化財調査官 梅津章子(コーディネーター)

■パネル展

日時・会場: 9月6日(金) 12時00分～17時00分
東北歴史博物館エントランスホール(宮城県多賀城市高崎1-22-1)

内 容: 宮城県内の文化遺産の被災復旧状況と地元の声を、東京藝術大学、筑波大学の学生が取材し作成したパネルを展示します。

■現地ツアー(要申し込み、定員40名、飲食及び7日宿泊費用(希望者)は実費負担)

日時・場所: 9月7日(土) 8時30分～17時、石巻市及び気仙沼市の文化遺産を訪問

旅 程: 8時30分 東北歴史博物館出発
10時00分～13時00分 石巻市中心市街地の文化遺産を訪問(各自昼食)
被災した歴史的建造物の現状と活用に向けた取り組みについて説明を受けます
被災から復旧した伝統芸能の実演を予定しています。
13時00分～15時00分 石巻市から気仙沼市へ移動
15時00分～17時00分 気仙沼市「風待ち地区」の文化遺産の視察
被災から国内外の支援により応急措置まで復旧した国登録文化財群を見学し、
所有者等から説明を受けます。
復旧した伝統芸能の実演を予定しています。
17時00分 現地解散

※翌日8日(日)は、気仙沼風待ち復興検討会の企画で(文化庁「NPO等による文化財建造物の管理活用事業」による)、気仙沼と千厩、一ノ関を結ぶ東西街道(黄金街道)の歴史文化を辿るツアーを用意しています(資料・ガイド・昼食実費負担)。是非こちらもご参加ください。

宮城県地域文化遺産復興プロジェクト実行委員会宛

(お手数ですが FAX でお申し込みください。FAX : 022-211-3693 (宮城県教育庁文化財保護課))

現地ツアー 参加申込書 (8月30日(金) 必着)

※切は当初の広報では8月23日としておりましたが、事情により延長いたします。

申込者のご氏名 _____

申込者のご所属 _____

申込者の連絡先 電話 (携帯) _____ FAX _____ E-mail _____

※携帯電話をお持ちでない方は、それ以外の連絡がとりやすい番号をご記入下さい。

以下の催しに参加を希望します

(該当する欄に○をつけてください)

催しの内容	参加	参加しない
9月6日(金)懇親会(有料) ※シンポジウム終了後、関係者による懇親会を予定しています。		
9月7日(土)現地ツアー ※1		
9月7日(土)夜の宿泊 気仙沼プラザホテル (一泊朝食付:10,650円) 相部屋となります。恐縮ですが部屋割りはご一任ください。	参加希望の方で同室希望者があればお書きください。ご希望に添えない場合はご了承ください。 _____	
9月8日(日)気仙沼風待ち復興検討会企画のツアー※2		

※1: 9月6日(夜)の宿泊は各自でご手配ください。

※2: 9月8日(日)気仙沼風待ち復興検討会企画のツアーにつきましては、別途改めて詳細につきましてご連絡をさしあげます。

宮城県大会第1部の申込先: 宮城県地域文化遺産復興プロジェクト実行委員会事務局

宮城県教育庁文化財保護課保存活用班 担当、大坂

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町 3-8-1 FAX : 022-211-3693

※本事業の全体に関するお問い合わせ: (株)マヌ都市建築研究所 担当、三浦・和田 MAIL:wada@manu.co.jp